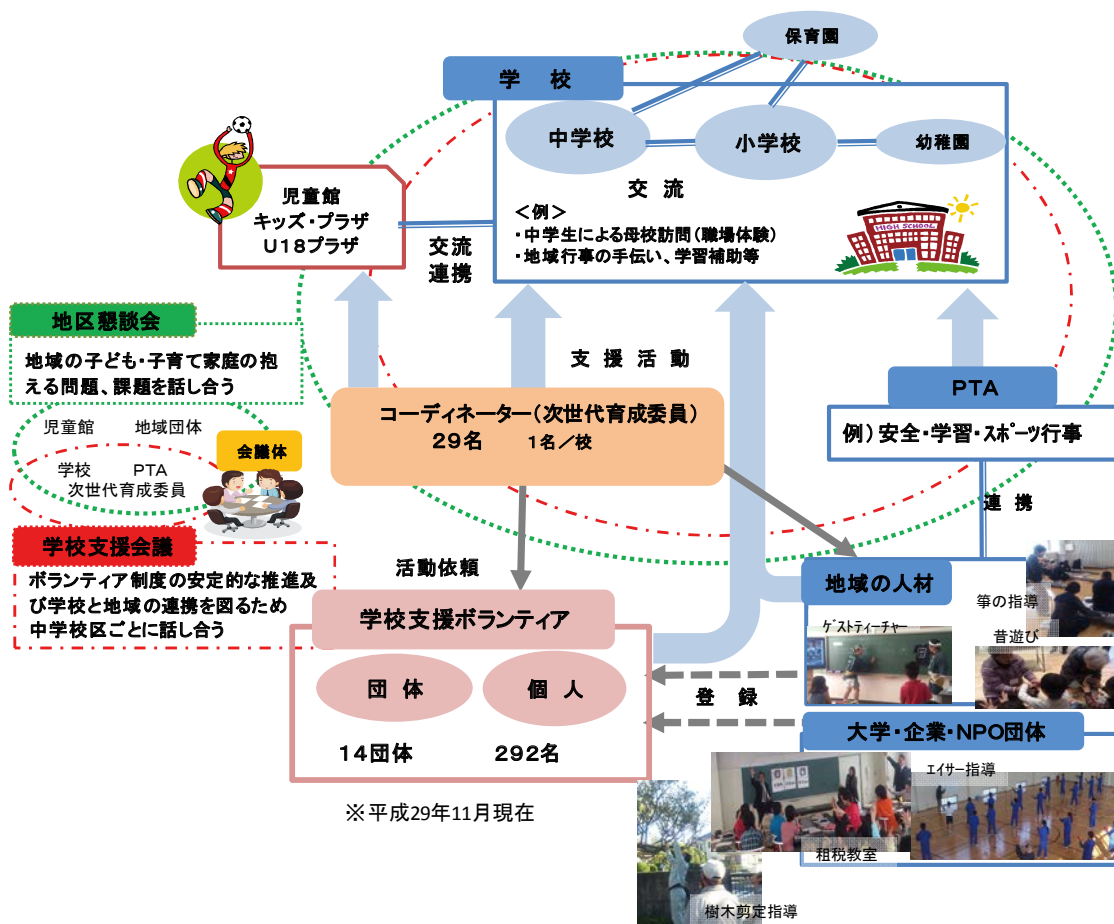


中野区教育委員会では、家庭と学校と地域が一体となって地域ぐるみで子供を育成し、「地域力」の向上と強化を図る仕組みとして、平成23年度に学校支援ボランティア制度を創設し、地域人材の発掘等に努め、学校と地域の連携を進めている。

◆学校支援活動の実施体制



○学校支援会議

中学校区単位に設置（11校）。構成員は各小・中学校校長、PTA、学校支援ボランティア・コーディネーター。主に学校支援ボランティアの活動状況、学校ニーズの共有を図る。

◆広報活動

学校支援ボランティアの活動の様子を定期的に教育委員会ホームページで紹介。

◆地域人材の育成、交流

コーディネーター全体会及び研修会（年10回）。

◆成果

学校支援ボランティア登録者、登録団体が増えている。

◆課題・展望

学校関係者や地域への制度の周知、学校ニーズに合った地域人材の発掘、コーディネーター人材の育成、学校支援活動を行うための基盤整備。